

## 中国に再生医療の現地法人「富士生物科技(上海)有限公司」を設立

### 中国での表皮培養サービスを展開

平成 26 年 2 月 25 日

富士フイルム株式会社(社長:中嶋 成博)は、中国での再生医療事業を展開するため、上海市に現地法人「富士生物科技(上海)有限公司」を設立しました。先進医療技術の臨床応用を承認する中国の先進医療特例制度<sup>※1</sup>のもとで、平成 27 年を目標に表皮を培養する受託サービスを医療機関に提供していきます。

再生医療は、人工的に培養した細胞や組織などを、損傷した臓器や組織に移植して、それらを再生し、機能を回復させる新しい医療技術です。再生医療の実用化促進はアベノミクスの成長戦略の目玉の一つであり、再生医療の新法制定や海外展開に向けた取り組みが活発化しています。

現在、富士フイルムは、日本で唯一再生医療製品事業を展開している株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング(社長:小澤 洋介、以下 J-TEC)<sup>※2</sup>と共同で、経済産業省の「日本の医療機器・サービスの海外展開に関する調査事業」<sup>※3</sup>に採択された「中国・タイ王国における再生医療実用化プロジェクト」<sup>※4</sup>を推進しています。本プロジェクトは、中国において J-TEC の開発した日本初の再生医療製品である自家培養表皮を用いた皮膚治療<sup>※5</sup>の実用化を進め、またタイでは自家培養軟骨を用いた軟骨欠損治療の実用化を図るものです。このような中、本プロジェクトを中国で推進していくために、「富士生物科技(上海)有限公司」を設立しました。

「富士生物科技(上海)有限公司」は、富士フイルムが医療ビジネス等で培った中国での事業基盤と J-TEC の細胞培養技術・ノウハウを活用して、再生医療を事業展開する会社です。今後、先進医療特例制度のもとで、表皮を培養する受託サービスを医療機関へ提供していきます。これらを通じて、中国における再生医療の実用化に取り組んでいきます。

富士フイルムは、これまで培ってきた技術・ノウハウを活かして、再生医療技術の実用化を促進し、人々の生活の質の向上と再生医療の産業化に貢献していきます。

#### <新会社の概要>

1. 会社名 : 富士生物科技(上海)有限公司 (英語名:FUJIFILM Tissue Engineering (Shanghai) Co., Ltd.)
2. 所在地 : 上海市浦東新区 張江高科技園區
3. 代表者 : 董事長 戸田 雄三、総経理 万沢 栄久
4. 事業内容 : 表皮培養サービスの医療機関への提供

※1 医学と医療技術の進歩を促進することを目的とし、各地方自治体の裁量で、医療機関による先進医療技術の臨床応用を承認する制度。病院や医師が臨床試験を実施、地方自治体に対して申請を行い、承認を得る。

※2 J-TECに、富士フイルムが41.10%、富士フイルムグループの富山化学工業株式会社が4.51%を出資している。また、J-TECは平成 26 年 3 月 31 日に新株予約権 18000 個(18000 株分)を発行し、富士フイルムがそれらを引受ける予定。富士フイルムが本新株予約権を全て行使した場合は、富士フイルムグループとして、J-TECが発行する株式の50.47%を保有することとなる見込み。(平成 25 年 9 月 30 日現在の J-TEC の発行株式数で算出)

※3 医療機器・サービス等を積極的に海外展開しようとしている医療機関や民間事業者の取り組みについて幅広く提案を募り、日本の医療サービスの国際化や、日本の医療機器、医薬品事業等の国際競争力強化を狙う、国の委託事業。

※4 日本で製造販売承認を得ている自家培養表皮ならびに自家培養軟骨を、中国・タイに対して事業展開し、これにより、患者への貢献と製造販売収入を確保するプロジェクト。

※5 白斑・母斑などの色素異常性皮膚疾患の自家培養表皮移植による審美治療や、熱傷治療など。

本件に関する報道関係のお問い合わせは下記にお願いいたします。

コーポレートコミュニケーション部 TEL 03-6271-2000

インターネットホームページ <http://fujifilm.jp>